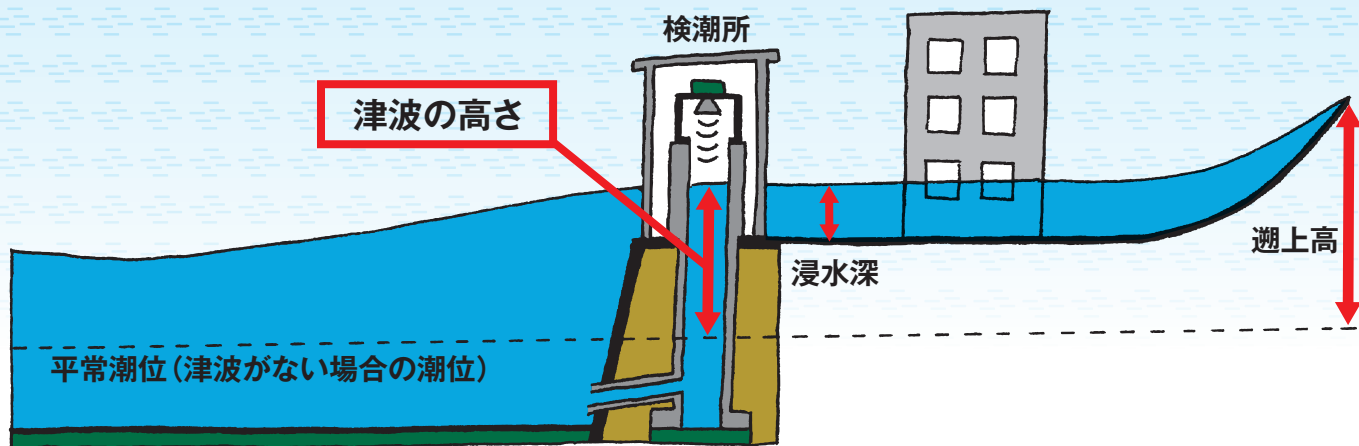


津波から身を守るために

新潟県は、長い海岸線を有し、常に津波の危険にさらされていると言えます。津波は、地震発生後、あっという間にやってくる場合があります。海の近くにいる時に強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じたら、津波警報の有無に関わらず、一刻も早くその場を離れてください。

避難は「遠く」よりも「高く」を意識し、なるべく高い所（高台や頑丈な建物の4階以上）へ避難しましょう。津波は繰り返し襲ってきます。警報・注意報が解除されるまで、海岸に近づかないようにしましょう。

「津波の高さ」、「浸水深」、「遡上高」の意味



津波の特徴

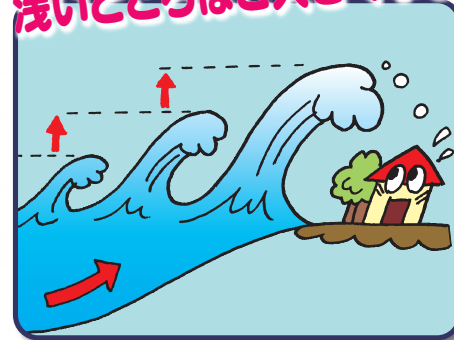
津波の速さはジェット機並み



津波の高さは想像以上



浅いところほど大きくなる

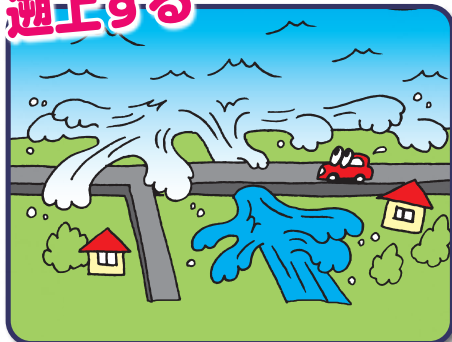


港や河口部は周囲の波が集まって予想以上に波が押し寄せてくる場合があります。

引き潮がなくてもくる



遡上する



遡上高は予想される津波の高さと同程度から4倍程度までになることがあります。

2波3波と繰り返す



2波3波の方が高い場合もあります

津波に対する心得

- 地震による強い揺れ(震度4程度以上)を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸や河川から離れ、急いでできるだけ高い所に避難する。
- 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海岸や河川から離れ、急いでできるだけ高い所に避難する。注意報でも海岸付近から避難する。
- 海や河川の様子を見に行かない。
- 避難の際に川沿いの道や橋を通ることは避ける。
- 原則として車で避難することはやめる。渋滞に巻き込まれ、避難が困難になる場合がある。
- 船に乗っているときはあわてて港に戻らず、沖合へ向かう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。



津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ	
		巨大地震の場合*	数値での発表(津波の高さ予想の区分)
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	巨大	10m超 (10m<予想高さ)
			10m (5m<予想高さ≤10m)
			5m (3m<予想高さ≤5m)
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	高い	3m (1m<予想高さ≤3m)
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	表記しない	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)

※マグニチュードが8を超えるような巨大地震に対しては、最初、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

その後、正確な地震の規模が分かった場合、予想される津波の高さを数値で発表します。

警報・注意報が発表された場合は、直ちにできる限りの避難をしましょう。

このパンフレットに関するお問い合わせ先

新潟県防災局防災企画課 TEL 025-282-1606 FAX 025-282-1607

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 E-mail ngt130010@pref.niigata.lg.jp

